

ハルナグループの歩み

1996

- 2月23日に資本金30百万円でハルナビバレッジ株式会社を設立
- 第1工場稼働
- 金融機関に対し月次決算の開示
- 東京にマーケティング本部設置

1997

- 従業員持株会発足
- ハルナビバレッジ研究所設立
- 第2工場稼働
- 新日本監査法人による調査及び指導開始

2000

- 第3工場稼働
- 総合衛生管理製造過程（HACCP）取得に向けた合同委員会発足

2001

- 第3工場がJAS工場として認定

2002

- リサイクルシステム協議会発足
- 第5回第三者割当増資及び役員社員に対しストックオプション付与
- 四半期報告会を開催
- 環境会計導入

2003

- 企業競争力の強化を図るため市場開発部門を設置
- 提案型企業への変革を目指し商品開発部門を設置
- HACCPの考えを充実させるため「総合衛生管理委員会」発足
- 中小企業経営革新計画承認（中小企業経営革新支援法）
- 「デカステス」産学官共同プロジェクト（高崎健康福祉大学・群馬県）
- 人材教育投資、生産合理化投資、総合衛生管理（HACCP）対応投資
- 第2工場において、クリーンルームと充填設備増設

2004

- 第29回国際食品飲料展 FOOD EX JAPAN2004 出展
- 人事基本理念制定

2005

- ビジネススクールを開講
- 物流関連企業ハルナロジスティクス株式会社設立
- ハルナロジスティクス株式会社 A倉庫完成（740坪）
- 緑地公園「ハルナコミュニティガーデン」を整備

2006

- ハルナロジスティクス株式会社 B倉庫完成（860坪）
- 全社IT化に着手
- 創業10周年記念式典開催
- HACCP承認（厚生労働省発関厚第0912001号）
- 「地球市民ウィーク2006 環境活動展」出展（主催：高崎市）

2007

- 「食品衛生優良施設」として群馬県知事賞受賞
- ハルナウェルネスサイエンス研究所発足
- EU輸出用緑茶「YOSHI-GO」発表
- オーバイ株式会社事業譲受契約締結、タニガワビバレッジ株式会社準備開始
- 合併会社ハルナヨーロッパ設立
- ハルナグループ全体会議開催開始

2008

- タニガワビバレッジ株式会社始動
- プロ野球チーム群馬ダイヤモンドベガサスをパートナーシップサポーターとして応援
- CSR報告書発行開始
- ハルナロジスティクス株式会社 C倉庫完成
- ハルナロジスティクス株式会社 D倉庫完成

2009

- タニガワビバレッジ株式会社 天然ガス設備稼働
- ハルナグループ組織再編
- ハルナロジスティクス株式会社 E倉庫稼働

2010

- 新規事業戦略センター設置
- 新商品開発プロジェクトチーム発足
- 「ハルナビジョン2015」公表
- ハルナグループ企業行動憲章・企業行動規範制定

2011

- 創業15周年記念誌『はじめなければはじまらない』発刊
- ハルナロジスティクス株式会社 F倉庫完成
- エネルギー対策委員会発足

2012

- ハルナロジスティクス株式会社 G倉庫完成
- 震災対策委員会発足
- プラントシステムイノベーション「見える化」にてコントロール室完成
- ハルナグループ創業記念館新設
- ハルナ工場のエネルギー転換（A重油から都市ガスへ転換）

2013

- ハルナグループ、持株会社体制への移行に伴う組織再編スタート
- HARUNA Asia Co.,Ltd 設立
- 自社ブローボトル成型機導入、稼働開始

2014

- ビジネススクール榛名山麓研修所開所
- ハルナジョイパックが自社ブローボトル成型機導入、稼働開始
- ハルナロジスティクス株式会社 H倉庫完成

2015

- HARUNA、国際食品飲料展 FOOD EX JAPAN2015 出展
- ハルナ工場、国際的食品安全マネジメントシステムの「FSSC 22000」を取得
- 創業者 青木清志が日刊工業新聞社主催の第33回優秀経営者顕彰「優秀創業者賞」を受賞

2016

- 2月23日 創業20周年感謝の会 式典を開催
- ハルナグループ組織再編
- 創業者 青木清志の自伝が上毛新聞「心の譜」にて連載開始

20年目を迎えて、これからのハルナグループについて ～社員の声より～

製造業？ MD？ いいえ、我々は飲料プロデューサーです！

我々ハルナグループは、創業当初より飲料製造業として成長を続け、まさに今、新たなステージへと独自進化を遂げようとしております。

「結局…ハルナグループは何屋なの？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、我々は業態の垣根を越えた『飲料プロデューサー』であります。

世の中に食品 MD という職は数あれど、社員自らの手でゼロから製造基盤を作り上げ、その現場から生まれる“生きた”品質ノウハウを発展・構築し続けられる環境は、他に類を見ないものであると考えます。

また、加速する飲料市場の SPA 化と、それに伴う物流の多様化に対応すべく、柔軟な物流環境を拡大させ、バリューの強化を行ってまいりました。

そんな我々が取り扱う水はまさに『生命の源』。

喉の渇きを潤すだけに留まらず、これまでになかった製品の企画・開発を通してお客様一人ひとりの QOL 向上を目指すと同時に、その根底となる安心・安全をお届けするため、すべての社員がプロデューサーの名に恥じぬよう、製造と品質に誇りをもって対応してまいります。

ハルナバリューネットワーク株式会社
バリューネットワークユニット
シニアチームリーダー
宮腰 亮多

編集にあたって

本年 2 月 23 日にハルナビバレッジは、20 周年を迎えました。この記念する年の報告書となり、今回は特別企画として巻頭には「感謝の会」のご報告を掲載させていただきました。

このようにステークホルダーの皆様を支えられ、無事に 20 年を迎えられたことを実感いたし、改めまして心より感謝申し上げます。

当社では、2008 年に「CSR 報告書」(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)を初めて発行し、CSR 活動を実践していくための基本的な指針を制定いたしました。2010 年からは「SRR 報告書」として、CSR を含め、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図る目的で発行しております。

そして本年、20 周年の記念号として、「ハルナに希望の未来を！」をテーマに作成いたしました。企業活動を通じてステークホルダーの皆様と一緒に、希望に満ちた未来をめざし、ハルナグループならではのレポートにいたしました。今後も皆様からの貴重なご意見を、CSR 活動や報告書の継続的改善に活用させていただきたいと考えていますので、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

2016 年 6 月 22 日



ハルナビバレッジ株式会社
社長室 秘書 黒澤 厚美